

平成 18 年度第 2 回東京都地方独立行政法人評価委員会 議事要旨

- 1 日時 平成 18 年 8 月 28 日（月）午後 3 時 15 分～午後 4 時 15 分
- 2 場所 第一本庁舎 42 階北側 特別会議室 C
- 3 出席委員 原島委員長、泉澤委員、板生委員、井上委員、鞠谷委員、柴崎委員
西尾委員、芳賀委員、松本委員、米本委員、和田委員
（委員長を除き、五十音順）

4 議題

（ 1 ）審議事項

公立大学法人首都大学東京の平成 17 年度業務実績評価

公立大学法人首都大学東京の平成 17 年度財務諸表等に関する意見聴取

（ 2 ）その他

5 議事概要

事務局から 6 月 9 日付けで菅野委員の後任として就任した松本委員の紹介
及び 7 月 16 日付人事異動に伴う事務局職員等の紹介

（ 1 ）審議事項

公立大学法人首都大学東京の平成 17 年度業務実績評価

事務局から、公立大学分科会において審議した経緯及び結果について説明

- ・資料 2 により評価方針及び方法について説明
- ・資料 4 により評価結果の概略について説明
- ・資料 5 により項目別評価の評定及び評定理由について説明
- ・資料 6 により全体評価について説明

公立大学分科会において審議した評価結果等について意見交換等を行い、
分科会において作成した業務実績評価（案）を評価委員会の評価として決定
また評価委員会として、評価結果について法人への通知及び知事への報告を
行うとともに、公表することを確認

【議事要旨】

- ・資料 6 の 4 ページの「今後の課題及び法人に対する要望など」の項目については、今後法人に対してどのような取り扱いとなるのか？

委員会として、この評価に対する返事という形で報告を受けたいと考えている。

- ・資料6の4ページの「法人運営に当たっては、運営費交付金、自己収入、外部資金などの収入をどのようにバランス良く構成するかが課題である。今後は、運営費交付金制度は維持しつつも、自己収入と外部資金を増額し、運営費交付金への相対的な依存度を下げる工夫が望まれる。」としているが、バランス点というのをどのように考えて今回の評価としているのか？

法人化された後は、自己収入、授業料や外部資金などをより獲得して、運営費交付金への相対的な依存度を下げて欲しいという要望として記載している。

- ・資料5の9ページの「安全管理に関する目標を達成するための措置」について、低い評価であったが、今後大学として大規模災害などにどう備えるかを考えるのも良いのではないかと？

法的に義務付けられている安全教育などについては実施しているが、大規模災害等のいろいろな危機管理体制の構築について督励する意味を含んだ評価としている。

公立大学法人首都大学東京の平成17年度財務諸表等に関する意見聴取事務局から、公立大学分科会において審議した経緯及び結果について説明

- ・資料7「公立大学法人首都大学東京の平成17年度決算における利益処分の考え方について」により経営努力認定の考え方について説明
- ・資料9「平成17年度剰余金の概要及び利益処分案について」により知事による承認額の算定結果について説明

財務諸表を知事が承認することに関し、各委員より意見等はなし

利益処分の承認については、公立大学分科会において審議した利益処分（東京都案）のとおり承認することが妥当

なお、委員会の意見として、東京都及び公立大学法人首都大学東京において、財務運営等について都民への説明責任を果たす観点から、「剰余金の使途が中期計画の達成に資するよう適正に対応させることを望む。」ものとし、知事あての意見書へ盛り込むことを確認

(2) その他

事務局から、資料13により地方独立行政法人産業技術研究センターの状況について報告

事務局から、今後のスケジュールについて説明

- ・業務実績の評価について、知事へ報告し、9月14日に公表を予定